

自然と歴史を活かした 震災復興

— 持続可能性とレジリエンスを高める景観再生 —

日時

2019年11月23日(土・祝日)
13:00~17:00

会場

東京農業大学 百周年記念講堂
(東京都世田谷区桜丘一丁目1-1)

定員

250名(要申込)



主催／公益財団法人 日本生命財団, 「地域の自然と歴史に学ぶ里浜復興」研究会

共催／東京農業大学地域創成科学科

後援／日本景観生態学会, 日本海岸林学会, 自然環境復元学会, 植生学会企画委員会, 日本生態学会生態系管理専門委員会,
日本緑化工学会海岸林・沿岸域緑化研究部会

協賛／公益財団法人 ニッセイ緑の財団

協力／東京情報大学, 東京農業大学, 東北学院大学, 国際生態学センター, 南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク,
生態系サービスの享受を最大化する'里浜復興シナリオ'創出プロジェクト, とうほく海辺の植物研究会, 仙台市新浜町内会,
海岸侵食災害を考える会



日本生命財団 2017-2018年度 環境問題研究助成(学際的総合研究)の採択を受け、「生態系と歴史記憶を活かした防災・減災による景観再生 —持続可能性とレジリエンスを高める震災復興—」のテーマで研究を実施してきました。その成果をワークショップとして広く市民に公開します。

第Ⅰ部：オープニングスピーチ

- 13:00 開会挨拶 甲斐 啓史 (日本生命財団理事長)
- 13:10 基調講演「原形復旧から未来復興へ：グリーンインフラ」 中村 太士 (北海道大学大学院農学研究院教授)
- 13:50 趣旨説明「自然と歴史を活かした防災・減災 —わたしたちがめざしたこと—」 原 慶太郎 (東京情報大学総合情報学部教授)

第Ⅱ部：研究報告

1. 自然環境チーム

- 14:05 「砂浜植生の再生と防災・減災の役割」 岡 浩平 (広島工業大学環境学部准教授)
- 14:20 「防災林の効果と限界」 柳澤 英明 (東北学院大学教養学部准教授)
- 14:35 休憩

2. 歴史・暮らしチーム

- 14:45 「海浜の暮らしが支えた海岸林の防災機能」 菊池 慶子 (東北学院大学文学部教授)
- 15:05 「ツバキがつかない復興への力と協働」 千葉 一 (東北学院大学非常勤講師)
- 15:20 「震災復興に地域コミュニティが果たした役割」 佐々木秀之 (宮城大学事業構想学群准教授)

3. 景観再生チーム

- 15:35 「震災復興と森林景観の再生」 富田 瑞樹 (東京情報大学総合情報学部准教授)

第Ⅲ部：総合討論

- 16:00 総合討論
 - 進行： 原 慶太郎 (東京情報大学総合情報学部教授)
 - コメンテーター： 中村 太士 (北海道大学大学院農学研究院教授)
 - 入江 彰昭 (東京農業大学地域創成科学科准教授)
 - 遠藤源一郎 (仙台市宮城野区岡田新浜 新浜町内会)
- 16:40 総括と展望「未来につなげる震災復興 —勇気をもって守ること、変えること—」 平吹 喜彦 (東北学院大学教養学部教授)
- 16:55 閉会挨拶 竹内 康 (東京農業大学地域創成科学科学科長)
- 17:00 閉会

申込締切

2019年11月19日(火)
(申込先着順で定員になり次第締切になります)

申込・問い合わせ先

参加ご希望の方は、ニッセイ財団ホームページの参加申込画面よりお申し込みください。
<http://nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/04.html>
 または、市販のはがきに(1)住所(2)氏名(3)団体名・役職名(4)電話番号を記入の上、下記住所にお送りください。
 〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7
 ニッセイ財団環境問題ワークショップ事務局
 TEL(06)6204-4012
 e-mail:kankyou@nihonseimei-zaidan.or.jp

東京農業大学世田谷キャンパス



交通案内

- 小田急線 経堂駅
【徒歩】約15分
- 小田急線 千歳船橋駅
【徒歩】約15分
【東急バス】約5分(千歳船橋駅～農大前)
- 東急田園都市線 用賀駅
【徒歩】約20分
【東急バス】約10分(用賀～農大前)

